

講演要旨

『洋上風力発電の海上施工等に関する取組』

我が国のエネルギー政策は、国際的な GHG 排出抑制の方針に応えるため、再生可能エネルギーの割合を大幅に増やしていく方針の下、進められています。

風力発電については、洋上での拡大への期待が大きく、これまで、法律の改正、策定その他、官民による技術的な検討も進められており、いくつかの海域において、事業者が選定されています。

また、関係自治体においても、基地港湾の立地や、サプライチェーンを支える企業立地の視点から、今後の洋上風力発電への関心が寄せられています。

EEZ を対象にした、洋上風力発電の法改正についても審議が開始される等、特に、期待が高まっている、浮体式洋上風力発電の施工上の課題に対する、官民による取組の方向について、ご紹介します。